

7 教科等の指導

(1) 国語科

国語科では、各学校で単元を貫く言語活動を位置付けた学習指導に取り組みられています。ただ、その課題として、「活動あって学習なし」の状況がみられます。

本年度の県学力調査の「読むこと」の問題（小学校3年）

うさぎは、このあとなんと行ったでしょう。言葉の続きを書きましょう。

また、そのように言ったわけも書きましょう。（お話の中の文を使って書きましょう。）

この問題の正答率は 64.6%、31.8%です。この問題では、「内容にあった文を想像して書くことができない」、「根拠となる文を読み取ることができない」等が正答率が低い要因だと考えられます。このことは、他学年の結果でも同様です。

また、本年度管内の国語科の指導案の課題として下記の3点が挙げられます。

単元の系統観に付けるべき力が示されていない。

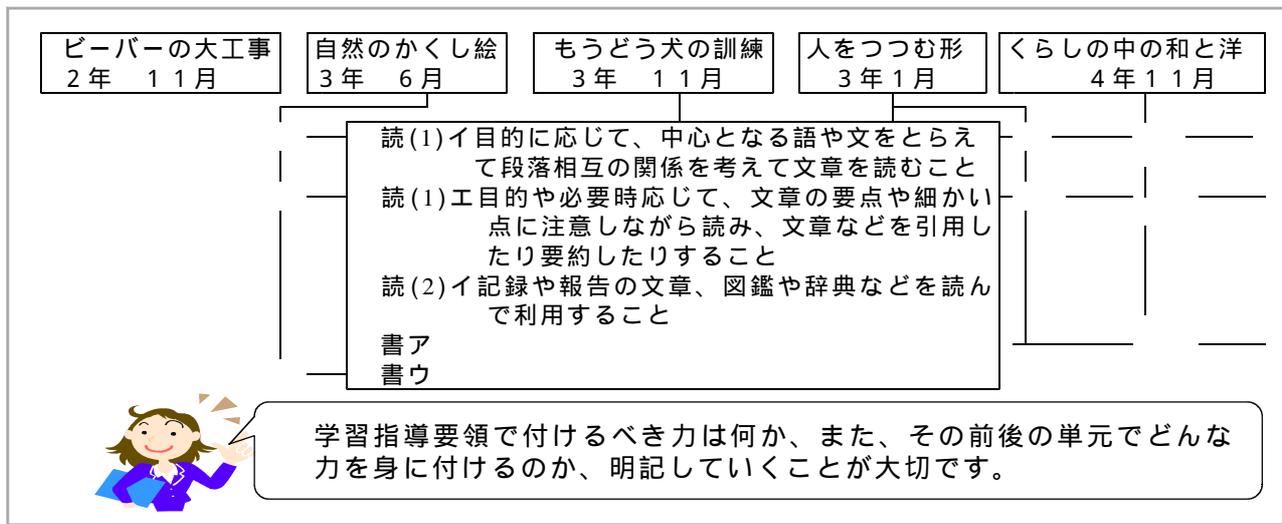
既習学習で付けた力が系統観に示されていない。（既習学習でどんな力が付いたかわからない。）

児童生徒の関心・意欲・態度のみの実態が示され、付けるべき力に沿った実態が明らかにされていない。（実態調査が児童生徒の意識調査のみの指導案が多い。）

付けたい力と関連づけた本時の目標とねらい、評価基準の整合性がとれていない。

そこで、下記の点に留意した指導案を作成することが大切です。

【付けるべき力を明確にした単元の系統を】



【系統に基づいた実態調査を】

「自然のかくし絵」の学習をとおして身に付けた力の把握例

- * 段落の小見出しを付けることができるか。 25 / 30
- * 中心となる語や文はとらえることができているのか。 23 / 30
- * 段落相互の関係を考えて文章を読むことができるか。
- * 文章の要点や細かい点に注意しながら文章が読めるか。
- * 文章などを引用したり要約したりすることができるか。

関心・意欲・態度など意識調査のみの調査だけではなく、今までの学習でどんな力が付いているのか、実態調査をして指導案を作成しましょう。



国語の授業では、児童生徒の課題を明らかにしながら授業づくりを進め、指導案の

国語科では、螺旋的・反復的にくり返しながら学習し、能力の定着を図ることを基本としているので、前単元まででまだ身に付いていない能力の中から、本単元で重点的に「付けたい力」を絞り込んでいくことになると考え、取り組まれています。

適切な課題設定～単元を貫く言語活動の位置付け～

単元を貫く言語活動の位置付けを構想する際は、「当該単元で重点的に指導すべき指導事項を確定する」「その指導事項をするのにふさわしい言語活動を選定する」「育成すべき国語の能力の一層の明確化・具現化を図る」「指導過程を構築する」の4点を踏まえ、「付けたい力」に適切な言語活動を選定し、言語活動の内容、単元の指導計画での位置付けなど、単元全体を見通して指導にあたるよう「単元構成シート」を作成され、授業づくりに生かされています。

国語科単元構成シート〔2年 単元名「ビーバーの大工事」〕

ステップ1
身に付けさせたい言語能力を明確にする

・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む力
・文章の中の大事な言葉や文を書き抜く力

ステップ2
ふさわしい言語活動を考える

興味がある動物について情報を集め、その動物のすごいところを見つけ、「動物のひみつクイズ」を作る。
動物のひみつクイズ大会

言語活動（動物のひみつクイズ大会）

教材文…ビーバーが木を倒して巣を作るまでの様子から「すごい」と思ったことについて「クイズを作る」と「クイズに答える」ことで、内容の大体を読み取る。

好きな動物…教材文で学んだことを基に、自分で選んだ図書から情報を集め、動物のすごいことについてのクイズと答えを作る。そのクイズを使って、動物のひみつクイズ大会をする。

関連図書選びは教材文の学習の時から行う。
好きな動物の情報を集める。

クイズカード例

クイズカード	クイズ	こたえ=すごい	「すごい」と思った理由
	・ビーバーはどれくらい水の中にいるでしょうか。	・ビーバーは普通5分間、長い時では15分間も水の中にいます。	・自分ならすぐ苦しくなって顔を上げるのに、ビーバーはダムを造るために15分も潜っているのはすごいです。

ステップ3
言語活動を単元を貫いて位置付ける

動物のひみつクイズ大会…関連図書を読み、自分が選んだ「好きな動物」について「すごい」所を見つけ、クイズを作って「動物のひみつクイズ大会」をしよう。

第1次	第2次（2時～7時）	第3次（8時～10時）
1)「動物のひみつクイズ大会」をすることとクイズを作るのかを知り、学習の見通しを持つ。	2～6) 教材文「ビーバーの大工事」ビーバーが木を倒して巣を作るまでの様子から「すごい」と思ったことについて「クイズを作る」と「クイズに答える」ことで、内容の大体を読む。 7)「ビーバーのひみつクイズ大会」をする。	8～9) 自分が選んだ動物について、その生態の中ですごいところを問うクイズとその答えを考える。 10)「動物のひみつクイズ大会」をする。
並行読書…いろいろの乗り物について紹介してある本や図鑑を読み情報を集める。		

ステップ4
思考・判断を促す発問や指示を具体化する

学習のねらいを達成するために手立てを具体化して指導計画を作成する。

〔授業実践〕～第2学年 ビーバーの大工事～

目標：クイズを作るために、ダムを造るビーバーの「すごい」を見つけながら、ダムを作る順序や様子を読むことができる。

過程	時間	学習活動	態	主な発問 指示	指導上の留意点
めあてをつかむ	5分	1 本時の学習のめあてをつかむ	一斉	どんなクイズを作ればいいですか。	・ダムを造る場面のクイズを作ることを確認する。 ・クイズのルール(3つ)を確認する。 クイズのルール ・すごいところが答えになるクイズを作ること ・文の中に答があるクイズを作ると、文末表現に気をつけること
を		ダムを作るビーバーの「すごい」が答えになるクイズを作ろう			
考える	20分	2 本時の場面を読み、ビーバーのすごいところと、そう思った理由を考える 3 「すごい」と思ったことが答えになるクイズを作る	個別	ビーバーのすごいところとそう思った理由を考えましょう。 「すごい」と思ったことが答えになるクイズを作りましょう。	 ・シートに「クイズ」「答え」「すごいと思った理由」を記入させる。
伝える・高める	18分	4 クイズが「ルール」に合っているかをペアで話し合う  自分の考えを深めるためのペアトーク	ペア	できたクイズが「ルール」に合っているかを確認し合いましたよ。 変えるともっとよくなる場所は、教えてあげましょう。	・ペアで「クイズのルール」に沿っているかを話し合わせる。 ・クイズのルールに合っていないクイズを作っている場合は、どこがいけないのか、どう変えればいいのかをアドバイスさせる。そのアドバイスをもとにクイズを修正させる。
まとめる	2分	5 できたクイズを発表する 6 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。	一斉 一斉	できたクイズを発表して下さい。 次の時間は、「巣を作るビーバー」のクイズを作ります。	・全体で「いいクイズ」かどうかを確認する。 ・次時は、ビーバーが巣を作る様子についてクイズを作ること伝える。

本時では、「考える」過程において、児童は、ビーバーのすごいと思ったところとそう思った理由を考えることで、真剣に文章を読み、文中の大事な言葉や文を選んでいった。
「伝える・高める」過程においてペアトークをすることによって、児童はできたクイズが「ルール」に合っているかを文章を根拠に確認し合った。文末に問いの言葉がなかった児童は、友達のアドバイスを受けて、文末に『～でしょうか。』をつけてクイズを作ることができた。

白旗小学校では、言語活動で「何をねらい、どんな力を付けていくのか」、「どの言葉を根拠に考えていくのか」など、付けるべき力を明確にした授業展開が実践されています。

各学校でも、「国語の授業のチェックポイント例」を参考に、確かな国語力を身に付ける授業づくりを実践していきましょう。

国語の力を高めるために読書活動は不可欠です。各学校では、読書活動の充実にも取り組んでいただいています。全ての学校で読み聞かせを位置付けた活動も実施していただいております。

ただ、本年度1月に一冊の本も読まない児童・生徒が増加しています。(県学力調査意識調査 小学校：10.1%、中学校：28.5%)

全体の読書指導とともに、個に目を向けた指導もよろしくをお願いします。

国語科は全ての言語活動の基盤となる教科です。国語科で身に付けた力を他教科の言語活動で活用し、確かな国語の力を育てていきましょう。